

第72回愛知県高等学校定時制通信制総合体育大会 要項

種目 軟式野球

- 1 主催 愛知県高等学校体育連盟
愛知県高等学校定時制通信制軟式野球連盟
- 2 期間及び会場
1日目 5月22日(土) 稲永公園野球場E面・F面
2日目 5月29日(土) 稲永公園野球場B面・F面
予備日 6月5日(土) 稲永公園野球場E面(AM)・F面(一日)
" 6月6日(日) 野田公園野球場
- 3 会場責任者
稲永公園野球場面F面 野田公園野球場
(城北つばさ高 鈴木 貴之)
稲永公園野球場B面・E面
(古知野高 高木 郁成 名市工高 長谷川賢佑)
- 4 大会役員
大会委員長 小林 整次(旭丘高)
大会副委員長 伊與田 賢
委員長 鈴木 貴之(城北つばさ高)
副委員長 高木 郁成(古知野高) 長谷川 賢佑(名市工高)
庶務 林 康太(城北つばさ高)
委員 鈴木 茂(向陽台高) 平仙 正典(刈谷東高)
- 5 競技役員 名古屋軟式野球連盟審判員
- 6 補助員 城北つばさ高等学校野球部員
名古屋市立工業高等学校野球部員
古知野高校野球部員
- 7 競技方法
① 7回制及び時間制併用(試合開始後1時間45分で次回最終回)とする。また、5回以降7点差の場合はコールド制を適用する。同点の場合は無死1・2塁で継続打者によるタイブレーク方式で行う。打順はタイブレーク開始直前のイニング終了時の打順を引き継ぐものとする。(次回以降も前イニング終了後からの継続打順)
② この場合の二人の走者は、前項の先頭打者の前の打順の者が一塁走者、一塁走者の前の打者の者が二塁走者となる。
※タイブレークを1回行ってもなお同点の場合は、同様のタイブレーク方式を繰り返して行う。
③ ベンチは、組み合わせ表の若番チームを1塁側とする。
④ 雨天により試合続行が不可能と審判が判断した場合には、5回終了していればコールドゲームとする。
- 8 試合方法 トーナメント方式

- 9 使用球 全日本軟式野球連盟公認球「TOPボール」M号を使用する。
- 10 参加資格 ①各県高等学校体育連盟に加盟している高等学校定時制・通信制課程の生徒で
各県高等学校体育連盟の推薦するもの。
②校長の出場認知証明のあるもの
- 11 参加人数 責任教師・監督・助監督・コーチ・記録員 各1名
15名以内 ただし県内大会ではこの限りではない。
- 12 表彰 優勝チームに優勝杯、賞状、メダル。2位と3位チームに賞状を授与する。
- 13 参加申込 5月12日（水）の顧問会議にて選手登録用紙（総体用1部、全国用2部）と競技分担金を提出する。 ※選手登録用紙は愛知県高体連HPの「ダウンロード→各種大会参加申込書→定時制通信制→軟式野球」にもあります。
- 14 組合せ 各チームによる抽選のうえ決定する。
- 15 その他 ①各学校は必ず1名の責任教師が引率し、大会中は全ての行動に責任を負うものとする。
②大会中の不慮の事故または疾病に対して、主催者はその応急手当を施す他は一切の責任を負わない。出場チームは、選手の健康保険証または健康保険証の写しを持参のこと。
③試合中、選手の負傷その他健康上の理由で、主催者が試合の続行を不相当と認めたときは、当該選手またはそのチームに試合を停止させることがある。
④試合の審判員は、主催者において委嘱する。
⑤試合中、野球規則に認められていない審判上の抗議は一切厳禁とする。
⑥シートノックは5分以内とする。ただし、天候等により実施しない場合もある。
⑦グラウンド整備は、各チームで行うこと。
⑧危険防止のため打者・次打者・走者はヘルメットを、またキャッチャーはキャッチャーヘルメット・キャッチャーマスク・プロテクター・スロートガードを着用すること。
なお、ランナーコーチもヘルメットを着用すること。
また、球場内へのマスコットバット及びバットリングの持ち込みは禁止とする。
⑨出場チームは、試合開始前1時間前には到着すること。
⑩試合球はトップボールM号とし、春の総合体育大会については、事務局で準備をする。
⑪雨天による開催の可否決定は、午前6時に行う。
⑫危険防止のため、試合中、選手はピアス・ネックレス等の装飾品を外すこと。
⑬大会に参加する全ての関係者は、新型コロナウイルス感染予防のため、別紙に定める予防対策を徹底するものとする。

この件（または文書）に関する問い合わせ先
高等学校体育連盟定時制通信制軟式野球
専門委員長 鈴木 貴之（城北つばさ高校）
電話：052-911-4421
Fax：052-911-8299

